

製品名: CD135 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87839**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:113 kDa; Observed MW:130-160 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD135
別名	FLK2; STK1; CD135; FLK-2
遺伝子ID	2322
SwissProt ID	P36888
免疫原	ヒトCD135の組み換えタンパク質

背景

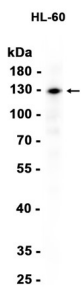
この遺伝子は、造血を制御するクラス III 受容体チロシンキナーゼをコードしています。この受容体は、細胞外ドメインへの fms 関連

チロシンキナーゼ3リガンドの結合によって活性化され、細胞膜上でホモ二量体形成を誘導し、受容体の自己リン酸化を引き起こします。活性化された受容体キナーゼは、その後、骨髄中の造血細胞のアポトーシス、増殖、分化に関与する経路において、複数の細胞質エフェクター分子をリン酸化・活性化します。この受容体の恒常的活性化をもたらす変異は、急性骨髄性白血病および急性リンパ芽球性白血病を引き起こします。[RefSeq 提供、2015年1月]

研究分野

-

画像データ



CD135 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HL-60 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。